

平成30年6月産業経済委員会所管事務調査

(平成30年6月13日)

1) 1) 妙高高原観光案内所に関連して (調査主任: 高田 保則)

2) 調査理由 (目的):

平成29年6月13日、産業経済委員会における議案第40号平成29年度一般会計補正予算(第1号)可決時の付帯決議に対する経過と、観光案内所の運営状況、施設利用状況について調べる。

3) 調査項目

(1) 観光案内所整備に当たって、妙高高原駅整備基本構想策定委員会や地域住民に事業説明を行い理解を得たとしているが、(8月4日全員協議会)その後の経過について。

① 地元、関係団体からは市の計画を了承するが、地域活性化に資する施設との意見が出ているがその後の対応はどうか。

② 鉄道事業者より、駅と案内所との連携、情報共有等と事業運営の協力のお願ひも出ていたが、現状はどうか。

(2) 現観光協会施設の取り扱い方針について。

① 観光協会施設の解体、駐車場整備を行うとしているが、観光協会との協議の状況はどのようなか。駐車場の機能は十分確保できるか。

② 整備スケジュールは。

(3) 妙高高原観光案内所の施設利用状況について

① 休息所機能について、2FはDMO事務局が入り、一般者は立ち入り禁止となっている。29年6月議会、産業経済委員会における説明と異なる利用状況だが、経過と現状はどうか。

② 外国語で対応できる案内所機能を整備するとしていたが、現状はどのようなか。今冬季国体での利用及び、インバウンド利用の状況と効果はどうか。

③ 6月議会一般質問の質疑に関する確認。